図書館だより

3月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	⑳	21	22	23
24	㉕	26	27	28	㉙	30
31						

○印 休館日 月曜日・祝日（20日）
月末館内整理日（29日）

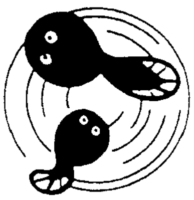
山寺の扉に雲遊ぶ彼岸かな　蛇笏

春分と秋分とを中日として、その前後三日ずつ七日間をいう。梵語の波羅の訳語だが、日本ではこの頃は、もともと農事始の神祭をする時期で、仏教に縁のない固有信仰にもとづく行事も多い。彼岸会、また彼岸参と言って、寺や墓に参り、仏事を行う。
（『最新俳句歳時記』より）

今月の新刊図書案内

＊一般図書

ビル・ゲイツ未来を語る　ビル・ゲイツ
ぼくはこんな本を読んできた　立花　隆
思考の技術・発想のヒント　鷲田小弥太
心を蘇らせる　河合隼雄ほか
地図でたどる日本史　佐藤和彦ほか
アメリカの中のヒロシマ　上・下　R・J・リフトン
宋慶齢　上・下　イスラエル・エプシュタイン
国際協力を仕事として　西崎真理子ほか
負けるな中間管理職　牧野　昇
投機の円安実需の円高　リチャード・クー
日曜日には、自分にごほうび　本田葉子
リボンアート・フラワー　長谷良子
松本忠子のもう困らない今夜のおかず　松本忠子
ハーブ　横　明美
サラリーマンをやめてよかった！　松枝史明



路面電車時代　吉川文夫
家族の日記　小倉英三郎
愛妻記　新藤兼人
読め！　浜田雅功
短いはがきの書きかた　新生活研究会
NHK初めての中国旅行会話　陳　真
一平かの子　岡本太郎
鉄鼠の檻　京極夏彦
秀吉　上　堺屋太一
犬張子の謎　平岩弓枝
アマニタ・パンセリナ　中島らも
世は〆切　山本夏彦
ジョン・レノンを殺した男　ジャック・ジョーンズ
ブーヘンヴァルトの日曜日　ホルヘ・センプルン
外一八八冊

＊児童図書

記録のことならすべてわかる　なんでも世界一　全4
チチカカ湖めざして
早わかり！国会のしくみ
森の王国
牛乳パックで作るへんしん・からくり
ニホンカワウソの願い
ブルータートル
見えない暴力
やっかいなおくりもの
あゆみちゃんといっちゃんの　ジングルベル
わたしを置いていかないで
わたしのせいじゃない
こっちをむいてよ、ピート！
むかし森のなかで
うんのいいおばあさん
外八十九冊

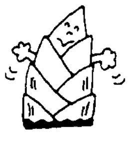
いじめ防止特別教育相談開設

月・木・週2日

場　所　文化会館内　都留市教育研修センター
時　間　毎週　月、木
午前9時〜午後4時30分
○電話による相談にも応じます。
☎(43)1323　FAX(43)1322
相談、情報の秘密は厳守します。

心の健康シリーズ（35）

「知っていること」と「できること」



子どもをしつける時、ことの善悪、何をすべきで何をすべきでないかを、まったく知らない白紙の状態で子どもは生まれてきます。

これを教えるのは親の仕事です。しかし、単に頭の中の知識として覚えさせただけでは「しつけをした」とは言えません。教えると同時に、その実践を習慣として身に付けさせた時、私たちは初めてこれを「しつけ」と呼ぶのです。すなわち、理解に行動が伴っていなければなりません。「知っていること」と「できること」とは別なのです。大人はどうでしょう。して良いことと悪いことの区別のつかない人は殆どないと思いますが、しかし、それが行動面に生かされているかどうかは疑わしいものです。

まさに「知っていてもできない」のです。それほど私たち人間は弱い心を持っています。

大人でもこうなのですから、子どもに一度や二度教えたくらいでしつけの効果が現れるはずもありません。何度も何度も繰り返し真白な心に教え刻みこんでゆかなければならないのです。しかも、毎日毎日例外なく、同じことは、同じように叱り、諭さねばなりません。忍耐力のいることです。親子のがまんくらべです。

親だっていつも同じ調子ではなく、疲れていたり、お客があったりで、「まあ、今日はいいか」では済まないのです。

いけないことは「いけません」なすべきことには「しっかりやりなさい」と根気強く言い続ける忍耐力と厳しさが必要です。

「でも、幼い子どもにそこまでするのは可哀相」と思い、ついつい夕ガを緩めてしまい、せっかく積み上げたものも、すきまからこぼれてしまいます。

しつけをするのに可哀相なんていうことはありません。確かに、他に楽しいことを知ってしまった大人には、厳しく臨めば苦痛に感じるでしょう。けれどはじめから、きちんとしつけられている子どもなら「こういうものだ」としか知らないのですから、子ども自身は、自分を可哀相などと感じていません。むしろ、ある時は許し、ある時は厳しくされることの方が、よっぽど可哀相です。

その意味で、幼児期甘やかされたあげく、小学校、中学校と進むほどに「勉強、勉強」と厳しく締めつけられる今の子ども達が、登校拒否、校内暴力など様々な手段で反抗をするようになるのです。